

平成28年10月23日

報道関係各位

遠藤周作没後20年記念事業 遠藤周作と日野江城を巡るツアー

キリスト教だった遠藤周作の没後20年記念事業として、「遠藤周作と日野江城を巡るツアー」を開催します。


今年、没後20年を迎え、生前、何度も日野江城に足を運んだ遠藤周作への想いを巡らせ、本市の歴史や史跡に対する市民の関心を高める目的で開催するものです。

記

- 日 時 11月20日(日)午前9時～正午
- 場 所 北有馬ピロティー文化センター日野江
- 内 容
 - ・関係者の証言ビデオ上映
 - ・日野江城本丸へと続く古道や城下町の散策
 - ・南蛮料理の試食
 - ・当時の西洋音楽の再現 など

- 参加費 1,000円（保険料・ガイド代込み） ※当日、徴収
- 定 員 先着100名
- 申 込 電話、FAX、Eメールで氏名・住所・年齢を記入の上、申し込みください。

- 締 切 11月14日(月)
- 問合せ 有馬歴史研究会 八木
Tel : 080-1709-0597
FAX : 0957-85-3550
E-mail : arimarekishii@yahoo.co.jp

担当部署	企画振興部企画振興課	担当者	伊藤 哲朗
直 通	050-3381-5030	E mail	chiikidukuri@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 	http://www.city.minamishimabara.lg.jp/page6046.html	検索ワード	遠藤周作と日野江城
担当者 連絡先			

私自身もし切支丹を多少とも勉強しなかったなら、この荒廃した城に杖を引かなかつたにちがいない。だがその時代の宣教師の通信文や切支丹学者の研究論文を小説の準備で紐解いているうちに、私ははじめてこの城が日本の文化の上でどんな大きな意味を持っているか知ったのである。

「切支丹の里」より抜粋

—来年公開予定— 遠藤周作の『沈黙』がハリウッドで映画化。

遠藤周作と 日野江城を巡るツアー

■ 遠藤周作文学館 北村学芸員講演 ■ 遠藤周作が描いた日野江城 作品パネル展示



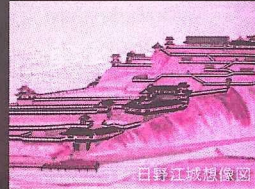
有馬川の殉教地

日野江城の古道



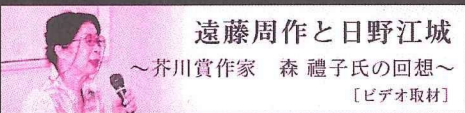
大根地での遠藤周作

■ 日野江城での
西欧音楽の再現



日野江城想像図

■ 遠藤周作が登った日野江城の古道、日野江城の城下町を巡る



遠藤周作と日野江城

～芥川賞作家 森 禮子氏の回想～

【ビデオ取材】



南蛮れうり



画像提供 森 禮子氏

日時 平成28年 11月20日(日) 午前9時集合～正午まで

場所 北有馬ピロティー文化センター日野江 [長崎県南島原市北有馬町戊2749番地]



お申込 有馬歴史研究会

参加費 お1人様 1,000円 [保険料・ガイド代込]

募集人数 100名

※ 保険加入のため氏名・住所・年齢をお知らせ下さい。

Eメール arimarekishi@yahoo.co.jp

FAX 0957-84-3550

携帯 080-1709-0597 (担当/八木)

お申込締め切り 平成28年 11月14日(日)まで

遠藤周作 (1923-1996)

日本の小説家。
1955年芥川賞受賞、1995年文化勲章受章
代表作『海と毒薬』『イエスの生涯』
『侍』『スキヤンダル』『沈黙』等